

小学校5・6年生は
こんな時期です



学習時間の
めやす

70~90分

「育ち」や「学び」の特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

学校での学習内容の特色

- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道を立てて考える理論的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 各種運動を通じて技能・体力の向上を図るとともに、陸上記録会や駅伝大会に出場する児童もいます。



家庭学習の コツ！3か条

- ★ **1 予定を立て、計画的な学習を！** ~勉強時間を決めて~
放課後もあわただしく過ごす子どもが多く見受けられます。その日の予定を立て、見通しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。
最初は予定通りできないこともありますが、長い目で見守りましょう。
- ★ **2 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！** ~生活リズムを~
生活リズムの乱れは、勉強ぎらいにつながります。「早寝早起き・夜更かしをしない」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。家事の分担も積極的に進めましょう。
- ★ **3 目標に向かって努力することの大切さを！**
子どもの将来の夢や希望について、話してみましょ。学校での学習の状況や親の失敗談を話してみるのもいいですね。そうして自分で目標をもって努力を続けることの大切さを伝えましょ。「偉人伝」を読ませてみるのもよいでしょう。

親子で確認 **ワンポイントアドバイス**

小学校5・6年生 家庭学習 こんな内容・方法で

~家庭学習を始める前に~

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせる。

宿題 学校での学習を振り返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにアドバイスしましょう。

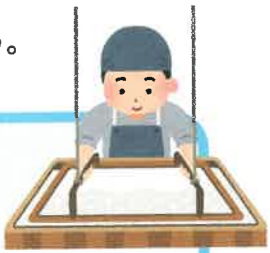
日記 書くことに慣れるとともに、自分の気持ちや考えを整理することの大切さに気づくように働きかけましょ。

- 国語**
 - 音読
 - 間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習ましょ。
 - 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりましょ。
 - 初めて読む作品も、おおまかなあらすじや内容を把握できるよう、イメージを膨らませて読むようにましょ。
 - 漢字
 - 漢字の構成や字形を意識して練習ましょ。
 - 習った漢字を使って、熟語や短文を作ましょ。
 - 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元におき、常に使用ましょ。
- 算数**
 - よく間違える計算は繰り返し練習ましょ。時には、前の学年に戻って練習することも効果的です。
 - 答えの確かめを自分でできるようにましょ。
- 家庭科**
 - 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践ましょ。
 - 学んだことを生かし、家事の分担を考えましょ。
- 外国語(英語)**
 - コミュニケーションの楽しさを味わい、外国語(英語)や文化に興味を持ちましょ。
 - 身のまわりのことを英語で表現したり、自己紹介をしたりしてみましょ。
 - 外国の音楽や映画、食べ物、ファッションなどに触れてみるのもいいでしょう。



長い休みにはこんなことを！

- 博物館や美術館にでかけ、自然や文化歴史に触れたり、絵画などを観賞したりする。
- 買い物から調理まで家族でクッキングに挑戦する。
- 自分の町の自慢(自然・施設など)を絵に描いたり、身のまわりの材料で工作したりする。



ちょっと

算数・数学の学習で大切なことの一つにノートをきれいにとること
があげられます。きれいにとること、つまらない計算ミスがなくなり、
頭の中も整理されます。ただきれいに書くものではありません。「日付・
ページ・番号を書く」「定規を使う」「間違いは赤で書き直す」「
筆算はノートをより広く使う」など、正しい方法で努力すれば必ず伸
びます。きれいに書けたときは、めいっばい本気でほめてください。
何事にも「励まし」の継続が必要です。

ついで